

群馬大学 理工学部環境創生理工学科

私は1年生の頃就職を考えていました。良い就職先に行くことができるよう、普段の授業やテスト、部活動などもしっかりと取り組んでいました。

進路を進学に決めたのは3年生になってからでした。三者面談で先生から『大学に行くと良い経験ができて知識も増える。』ということを知り、進学したいと思いました。進学するのだったら今のままでは学力が足りないと感じ、塾にも通いました。

夏休みに入る前、進路指導の先生から群馬大学を薦められAO入試に挑戦することを決めました。志望理由書を何回も書き直したり、面接や口頭試問の練習を試験本番の日が来るまで一生懸命頑張りました。私が合格できたのはたくさんのアドバイスや面接練習をしてくれた先生方と影ながら支えてくれた人たちのおかげです。それらの人たちに感謝し大学でも頑張っていきたいと思っています。

群馬県立女子大学 文学部美学美術史学科

正直なところ、私は合格するまでの自信がなく、ギリギリまで不安で、駄目ならきっぱり諦めようと思っていました。

思い起こせば、私は今まで失敗するリスクを避けることが多かったのですが、高校最後の取り組みとして、今までにない挑戦を試みようと思い群馬県立女子大学の受験を決意したのです。初めて勢多農生として県立女子大の進路開拓をすることになるのだと思うと、不安と未知の世界への期待が膨らみました。

しかし、どのように対策を立てたら良いか分からず、先生に相談しながら手探りで受験の準備をしました。学校での課題と重なることも多く精神的に追い詰められましたが、プレゼンテーションの練習なども念入りにして、気付いたことはすぐに改善しました。2学期も後半になり、友達との思い出作りもしたかったけれど我慢の日々が続きました。しかし、自分で選んだ道だから覚悟を決めてアドバイスに従って努力を続けました。

そして、ついに合格を手にした日、それまでの努力と我慢が報われた気がしました。挑戦することの大切さを実感すると共に、頑張れた経験は自信になりました。